

**議案3****平成28(2016)年度 事業計画案**

※ ( ) は平成27年度予算額

**〔事業費〕****12,700千円(14,600千円)**

- 1 第33回総会の開催** **1,200千円(900千円)**  
日程 平成28年5月26日(木)  
場所 松本市(長野県)  
内容 平成27年度事業実施状況、決算  
平成28年度事業計画、予算、役員体制の審議 ほか
- 2 役員会等の開催** **2,800千円(2,800千円)**  
各種事業・予算・決算・次期役員体制等を審議する役員会を開催するほか、会計監査を実施する。  
・第1回役員会(総会と同日開催)  
日程 平成28年5月26日(木) 場所 松本市(長野県)  
・第2回役員会  
日程 平成29年1月27日(金) 場所 高松市(香川県)  
・会計監査  
日程 平成28年4月下旬 場所 長崎市(長崎県)
- 3 研修会の開催** **900千円(900千円)**  
会員自治体の首長や平和事業担当職員等のために、平和講演、戦争体験講話、関連施設視察などの研修会を開催する。(役員会と同時開催)  
・第1回研修会  
日程 平成28年5月26日(木)~27日(金) 場所 松本市(長野県)  
・第2回研修会  
日程 平成29年1月27日(金) 場所 高松市(香川県)
- 4 調査研究の実施** **800千円(700千円)**  
・非核宣言未実施自治体への宣言状況調査  
・参考図書購入、配布  
・会員自治体の平和事業照会  
・【新規】リーフレット「北東アジア非核兵器地帯の創設に向けて」の改訂

## 5 親子記者事業の実施

2,200千円(2,200千円)

会員自治体の小学生と保護者に長崎に派遣し、被爆の実相や平和の取り組みなどについて、親子で新聞にまとめ、その発表会を開催する。また、その新聞を会員自治体等に配布したり、ホームページに掲載することにより、会員自治体の住民の平和意識の高揚を図る。

日程 平成28年8月8日(月)～11日(木・祝)

場所 長崎市内

募集対象 全国の会員自治体在住の小学4～6年生、保護者の9組

選考方法 派遣者は、抽選により各ブロック1名に決定する。

## 6 原爆展事業の実施

1,900千円(600千円)

(1) 巡回原爆展セット(パネル等)の貸出

(2) 【新規】小学校低学年向けミニミニ原爆展用ポスターの作成

小学校低学年の児童が戦争と被爆の実相や平和の大切さへの理解を深めるとともに、「核兵器のない世界」を目指して自分たちにもできる取り組みがあることを親しみやすく学べるよう、マンガやイラストを用いた新しい原爆展ポスターを作成する。

## 7 平和発信事業の実施

500千円(500千円)

- ・被爆樹木(クスノキ、アオギリ)の苗木の配布
- ・ホームページ、フェイスブックによる情報発信

## 8 平和啓発事業の実施

2,400千円(一千円)

(1) 【新規】U-40世代の交流によるネットワーク拡大事業

全国自治体の若手職員等を長崎に招待し、被爆の実相に触れるとともに、同世代との交流や長崎の平和の取り組みを体験するなかで、参加者の意識やスキルの向上を図ることにより、各自治体における平和事業のさらなる推進を支援する。

日程 平成28年10月27日(木)～29日(土)(予定)

場所 長崎市内

募集対象 会員自治体が推薦する40歳以下の者(自治体職員等)10名程度

内容(案)

①被爆の実相に触れる

被爆体験(家族証言)聴講、原爆資料館等視察、被爆遺構めぐり

②同世代の若者との意見交換

③原爆犠牲者慰霊世界平和祈念市民大行進ほか関連行事への参加

(2) 【新規】 平和事業（出張講座等）への講師派遣事業

会員自治体が実施する平和事業へ講師等を派遣する。

- ① 会員自治体の平和教育を支援するために、長崎大学核兵器廃絶研究センターと協力し、平和教育の実践に取り組む大学生等を派遣する。
- ② 被爆体験を継承するため会員自治体が主催する平和イベントに、長崎市被爆体験家族証言（交流証言）者や広島市被爆体験伝承者を派遣する。

9 被爆70周年事業

0千円(6,000千円)

※事業終了

**〔事務経費〕**

**3,200千円(3,200千円)**

- ・ 事務局運営にかかる嘱託員人件費、消耗品費、通信運搬費
- ・ 協議会パンフレット印刷製本費 等

**〔予備費〕**

**55,646円(389,241円)**

**支出予算額合計**

**15,955,646円(18,189,241円)**